

戦略的イノベーション創造プログラムに係るガバニングボード（第81回）議事要旨

1. 日 時 平成30年5月17日（木）

2. 総合科学技術・イノベーション会議（CSTI）議員

橋本議員（座長）、上山議員、梶原議員、十倉議員、松尾議員、山極議員
PD（プログラムディレクター）

安西PD、佐相PD、後藤PD、葛巻PD、岸PD、小林PD、柏木PD、
中村PD、田中PD、石井PD

内閣府 山脇統括官、生川審議官、黒田審議官、柳審議官、進藤審議官、赤石審議
官、竹上参事官、古田企画官

3. 議 題

（1）CSTI有識者議員とSIP第2期PDとの意見交換

4. 配布資料

資料1 SIP第2期課題の概要（暫定版）

資料2 SIP第2期PDのプロフィール

5. 議 事

（1）CSTI有識者議員とSIP第2期PDとの意見交換

6. 決定事項等

（1）CSTI有識者議員とSIP第2期PDとの意見交換

出席したSIP第2期のPDからの自己紹介、担当する課題への意欲等について発言
のあと、意見交換するところ、主なCSTI有識者議員のコメントは以下のとおり。

○知財戦略や標準化戦略、社会実装という出口戦略に向けては人文社会科学系の有識
者の知見が有効になる。その観点をプロジェクトに織り込んで欲しい。

○Society 5.0を実現し普及させる観点から、戦略的にプログラム間の連携を推進して
欲しい。

- SDGs、Society 5.0、ESGなど経済成長と社会課題の解決を図る取組は、日本企業の事業精神に非常にフィットしている。イノベーションは価値を生んでこそそのイノベーションであり、研究や技術の進歩を社会実装に結び付けて欲しい。
- 研究開発の過程で将来的に意味のあるシーズやアイデアが生まれる。そのような知見をアセットとして生かしていく視点も大切にして欲しい。
- 民間ではできないこと、あるいは民間投資を引き出すために国費が投入されていることを念頭におき、出口戦略を明確にして欲しい。
- 関係府省で推進される施策とも連携した運営をお願いしたい。

以上